

第 96 回日本学生選手権水泳競技飛込競技大会開催にあたっての留意事項

令和 2 年 6 月 15 日（公財）日本水泳連盟発信「水泳競技会の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」に基づき実施とするが、ガイドラインに定めるものの他に以下の点に留意して実施をします。

- ・受付時間・練習時間を分け、異なる種目に出場する選手同士の接触を避ける。
- ・公式練習期間もグループを設け、練習時間帯を分けて、3 密を回避する。
- ・更衣室および大会関係者が使用範囲の手洗場には石鹸、ペーパータオルを用意。プールサイド数カ所にも手指消毒液を設置する。
- ・受付時に「健康チェック表」を確認し、最終日に提出させる。提出されたものは競技会終了後、1 ヶ月保管する。
- ・更衣室は密集にならないと想定されるが、最小限の更衣のみの使用とし、ロッカーの使用は禁ずる。
- ・招集は集合形式を取らず、各自種目の確認のみとする。選手紹介も行わない。
- ・タワーに並ぶ際も 1 m 以上の間隔を空けさせる。並ぶ位置の目印を貼る。
- ・入水以外の練習では、マスク着用を原則とする。
- ・アップスペースは、選手間の間隔を空けるように位置を定め、プールサイドに設置。密閉された小部屋等の使用は禁止。
- ・トレーナーブースは 3 密を回避するために、別途場所を定める。
- ・コーチ席エリアの指導者の間隔も密接にならないように配置する。
- ・プールサイドから水中にいる選手への発声での指導や、指導者同士の会話は禁止する。
- ・スタンドは該当競技以外の選手、マネージャー等チーム関係者に開放するが、発生での応援やかけ声は禁止する。
- ・練習日および競技日も選手の入替わりのタイミングで手すり等の消毒を行う。
- ・選手の飲食場所は、会場内の飲食可能エリアに密を回避できるように設置する。
- ・競技役員、審判員は最小人数で実施できるようにする。
- ・競技役員のマニュアルは細分化したものを作成し、当日のミーティング等は実施せずとも、競技会が実施できるようにする。
- ・審判席や記録席には必要に応じて、アクリル板等を設置する。
- ・担当者を決め、適宜巡回をし、注意喚起を行う。
- ・役員、審判についても密集される控え室の使用を控える。（または設置しない）

●併せて競技会会場が定める以下の項目もご確認ください(2020. 07. 09 現在)。

- ①発熱（37.5 以上）の方は、入館できません。
- ②咳・咽頭痛の症状がある方は、ご来館をお控えください。
- ③同居家族・身近な知人に感染が疑われる方がいる場合、過去 1 4 日以内に政府から入国制限、入国後の監査期間を必要とされている国、地域への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合は、ご来館をお控えください。
- ④館内はマスクを着用してください。
- ⑤人との距離を、十分に開けるように注意してください。
- ⑥利用者全員の検温をしていただき、利用前に【体調チェック表】を受付に提出してください。
- ⑦入館前にはアルコール等による手指消毒をしてください。
- ⑧ウォータークーラー・キッズスペース・採暖室・血圧計・脱水機・体重計・ドライヤーはご利用いただけません。
- ⑨大阪プール備え付けのビート板・プルブイはご利用していただけません。※ご自身でお持ちいただいたビート板・プルブイは利用可。
- ⑩シャワーブース・ロッカーは 3 密を防ぐため、使用できるシャワーブース・ロッカーを減らしております。
- ⑪利用制限を行う場合もございます。